

安全工学シンポジウム 2007 目次

第1日:7月5日(木)

挨拶

(第1室 1階講堂)

12:50 ~ 13:00

日本学術会議 総合工学委員会

委員長 後藤俊夫

(代理 松岡猛)

安全工学シンポジウム 2007 実行委員会

委員長 室崎益輝

第1日:7月5日(木)

特別講演

(第1室 1階講堂)

13:00 ~ 14:00

「自殺の現状とその対策」

国立精神・神経センター総長 樋口輝彦

司会:鈴木喜久(東京工芸大学)

第2日:7月6日(金)

特別講演

(第1室 1階講堂)

13:00 ~ 14:00

長周期地震動下における建築物の応答予測に関する基本事項

日本大学教授 秋山宏

司会:室崎益輝(消防庁消防研究センター)

第1日:7月5日(木)

パネルディスカッション

(第1室 1階講堂)

PD1 事故防止、被害軽減のために今取り組むべきこと、望まれること - 各界の役割と進むべき道は? -

14:20 ~ 17:00

コーディネータ・司会:松本陽(交通安全環境研究所)

【パネラー】

- 1 交通事故ゼロを目指して - ヒューマンエラー対策を考える -
井口雅一(東京大学)
- 2 「21世紀の安全に再構築を ~ 事故を読み解く3つのキーワード~」
吉村秀實(ジャーナリスト)
- 3 日本学術会議「事故調査体制の在り方」小委員会活動について
松岡猛(宇都宮大学)
- 4 日本機械学会における高安全度交通システム実現に向けての活動
松本陽(交通安全環境研究所)
- 5 交通事故死傷者ゼロに向けた自動車技術会の取り組み - Foresight Zero Programme の紹介 -
近森順(自動車技術会)
- 6 事故防止のための法的なシステムと最近の法戦略
佐藤健宗(弁護士)
- 7 航空における安全性の向上施策
舘野洋彰(日本乗員組合連絡会議)

- 8 企業コンプライアンスと製品安全対策 - 家電製品の例 -
高杉和徳(前人間生活工学研究センター)

第2日:7月6日(金)

パネルディスカッション

(第1室 1階講堂)

安全に係わる技術の倫理

14:20 ~ 17:00

コーディネータ・司会:室崎益輝(消防庁消防研究センター)

[パネラー]

- 1 建築物の安全性と技術者倫理
大越俊男(早稲田大学)
- 2 原子力学会における技術倫理の取り組み
大場恭子(金沢工業大学)
- 3 防火技術者の社会的地位向上の取り組み
笠原勲(日本防火技術者協会)
- 4 市民の目からみた技術者のあり方
山崎登(NHK解説委員)

第1日:7月5日(木)

オーガナイズドセッション1

日本学会会議 - 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会活動について (第1室 1階講堂)

9:40 ~ 11:40

オーガナイザ・座長:松岡猛(宇都宮大学)

[パネラー]

- 1-1 日本学会会議 - 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会活動について
松岡猛(宇都宮大学)
- 1-2 「事故調査体制の在り方小委員会」活動について
垣本由紀子(立正大学)、松岡猛
- 1-3 遺棄および老朽化学兵器の安全な廃棄技術に関する委員会活動
古崎新太郎(崇城大学)
- 1-4 事故死傷者ゼロを目指した取り組みについて
永井正夫(東京農工大学)
- 1-5 ネットワークと社会の安全
菅村昇(工学院大学)
- 1-6 ビジネスのリスクマネジメント
高橋幸雄(東京工業大学)

オーガナイズドセッション2

テロや感染症に強い建物設計 (第2室 2階大会議室)

9:40 ~ 11:40

オーガナイザ・座長:池田耕一(国立保健医療科学院)

- 2-1 建築物衛生における健康危機管理のあり方に関する研究
池田耕一(国立保健医療科学院)、柳宇
- 2-2 建築物内における健康影響危険物質の拡散特性の数値解明に関する研究 - RF濃度計算法を用

いた汚染質輸送解析 -

樋山恭助(東京大学)、加藤信介、石田義洋

2-3 NBC 拡散推定技術を用いたテロを対象とした減災対策の試み

鈴木猛康(防災科学技術研究所)

オーガナイズドセッション3

電気設備・電子機器の障害防止と安全対策 (第3室 6階 A(1)会議室)

9:40 ~ 11:40

オーガナイザ:市川紀充(労働安全衛生総合研究所)

座長:小林幹(工学院大学)

3-1 Peculiar Broken Phenomena of Cu Wires Passed by Lightning Current

Tsuginori Inaba(Chuo University), Xiaobo Hu, Christoph Lederle, Josef Kindersberger,
Toru Iwao, Takahiro Otuka

3-2 ns 沿面放電図形とフラクタル特性

奥村克夫(芝浦工業大学)

3-3 PV システムと自然環境 ~ 障害防止と安全対策の考察 ~

遠藤勇徳(工学院大学)、島崎誠、小林幹

3-4 Effects of Shield Ring on Charging and Flashover Characteristics of an Insulating Vacuum Bottle

Osamu Yamamoto(Kyoto University)

3-5 磁気遮へいにおける磁性材料の開孔による影響

久保直也(きんでん)

3-6 沿面放電電荷密度分布の高分解測定に向けて

熊田亜紀子(東京大学)

3-7 宇宙放射線環境による衛星材料の帯電現象の解析 - 衛星材帯電に関する基礎研究 -

三宅弘晃(宇宙航空研究開発機構)、仁田工美、松本晴久、五家建夫

3-8 電気設備の金属容器内で発生する負コロナ放電ノイズの外部検出 - 障害・災害防止の基礎研究 -

市川紀充(労働安全衛生総合研究所)

オーガナイズドセッション4

福祉工学領域と安全 (第4室 6階 A(2)会議室)

9:40 ~ 11:00

オーガナイザ・座長:依田光正(日本大学)

4-1 若年者における移動用の福祉用具に対する評価

依田光正(日本大学)

4-2 PDA を用いた職業訓練作業の安定化 - 高次脳障害者への職業訓練でのアプローチ -

上田典之(国立職業リハビリテーションセンター)、中山剛、中井徹志、横田恒一、外山滋、
加藤誠志、岡谷和典、植松浩

4-3 人体モデルによる解析システムの福祉機器安全評価への応用可能性の検討

花房昭彦(職業能力開発総合大学校)

4-4 接触事故防止用 LED 実装型杖の提案と視認性評価

磯村恒(神奈川工科大学)、有馬智彦、諸田喬洋、松田康広、斎藤信之

一般セッション 1

地震と安全 (第 5 室 6 階 C(1)会議室)

9:00 ~ 12:00

座長: 河野守(国土技術政策総合研究所)

- 1-1 バーチャルダミーによる胸部圧迫 - 変形挙動のパラメータ解析
長嶋文雄(首都大学東京)、尾崎潤、生田英輔、宮野道雄
- 1-2 緊急地震速報と連動した学校向け地震早期警報システム
源栄正人(東北大学)
- 1-3 地震予知技術の比較評価
矢部五郎(産業科学研究所)
- 1-4 建設工事現場での緊急地震速報利用による安全性向上
那須正(鹿島建設)、宮村正光、神田克久、山谷博愛
- 1-5 建築耐震設計における極限外乱法の役割
竹脇出(京都大学)
- 1-6 水平・上下同時入力地震動を受ける建築構造物に対するクリティカル外乱
藤田皓平(京都大学)、吉富信太、辻聖晃、竹脇出、中村尚弘
- 1-7 一時的部分的機能低下を許容する重要拠点の設計要求条件整理
柳父行二(大阪ガス)
- 1-8 リスクマネジメントをベースとした耐震バリア構築法に関する一研究
吉川幸雄(横浜国立大学)、関根和喜
- 1-9 建物の耐震強度不足問題に思う
長尚(元信州大学)

一般セッション 2

安全の概念(事故災害に関する安全の概念) (第 6 室 6 階 C(2,3)会議室)

9:00 ~ 9:40

座長: 高木元也(労働安全衛生総合研究所)

- 2-1 安全の設計原則と管理 - 安全技術の発展と技術課題
加部隆史(NPO 安全工学研究所)
- 2-2 事故調査の今日的意義 - 社会的責任論議を踏まえて
坂清次(三菱総合研究所)

一般セッション 3

安全の概念(安全と人間性、社会特性) (第 6 室 6 階 C(2,3)会議室)

9:40 ~ 12:00

座長: 高木元也(労働安全衛生総合研究所)

- 3-1 不安全行動の防止手段の体系化に関する考察
深谷潔(労働安全衛生総合研究所)
- 3-2 あなたを守る「安全行動」をしよう 11 道路交通法の「人は右側通行」「自転車は左側通行」の徹底
林忠弘(日本労働安全教育研究所)
- 3-3 事故リスクの経時動態と危機認識
郷茂夫(プリディクション郷事務所)
- 3-4 警報に対する信頼度測定手法の検討

星善光(千葉科学大学)

- 3-5 情報伝達不具合に関連した産業機械の労働災害分析
濱島京子(労働安全衛生総合研究所)、梅崎重夫、江川義之
- 3-6 労働災害防止の観点から見た化学プラントの安全管理問題
島田行恭(労働安全衛生総合研究所)、熊崎美枝子、川端鋭憲
- 3-7 廃棄物処理・リサイクルにおける安全・安心対応策に関する研究(事故・トラブル・ヒヤリハット事例データベースの構築とその分析)
切川卓也(早稲田大学)、永田勝也、小野田弘士

オーガナイズドセッション5

高齢社会における地域防災の課題と展望 (第2室 2階大会議室)

14:20 ~ 17:00

オーガナイザ: 関沢愛(東京大学)

座長: 長谷見雄二(早稲田大学)

- 5-1 高齢社会の問題点と地域防災の課題
室崎益輝(消防庁消防研究センター)
- 5-2 高齢社会における火災リスクとどう向き合うか
関沢愛(東京大学)
- 5-3 高齢者施設の防災問題(グループホーム等)
古川容子(日本建築センター)
- 5-4 地域防災力に対するシニア世代パワーへの期待
福島敏彦(練馬区)
- 5-5 自主防災活動の担い手の過去、現在、未来
黒田洋司(消防科学総合センター)
- 5-6 地域社会の高齢化と防災上の課題 ~ 高齢者・災害弱者への視角の転換 ~
大矢根淳(専修大学)

オーガナイズドセッション6

自動車用安全部品(エアバッグ等)について (第3室 6階 A(1)会議室)

14:20 ~ 16:20

オーガナイザ・座長: 新井充(東京大学)

- 6-1 エアバッグ用ガス発生剤の開発
北尾盛功(元日本火薬)
- 6-2 新規運転席エアバッグ(自動車)用インフレーター(98パイロ)の開発
小田慎吾(ダイセル化学工業)
- 6-3 今後の自動車安全対策の方向性 ~ 予防安全デバイスの今後と現状 ~
高橋信彦(日産自動車)
- 6-4 「エアバッグインフレーター燃焼工学」の構築に向けて
堀恵一(JAXA)、西岡牧人

オーガナイズドセッション7

介護労働者負担軽減のための人間工学的対策 (第4室 6階 A(2)会議室)

14:20～16:20

オーガナイザ・座長:青木和夫(日本大学)

7-1 介護者の安全衛生の現状とその支援のための人間工学的改善アプローチの考え方

松田文子(労働科学研究所)、吉川徹、水野有希、酒井一博

7-2 介護施設における介護機器の導入・使用状況と問題点

岩切一幸(労働安全衛生総合研究所)

7-3 わが国のホームヘルパー労働の現状と北欧の人間工学的対策

山本美江子(産業医科大学)

一般セッション4

医療福祉に関する安全 (第5室 6階 C(1)会議室)

14:10～15:30

座長:矢代嘉郎(清水建設)

4-1 JR福知山線列車脱線事故(2005年)における医療活動に関する検証 その1. 傷病者搬送に関する時刻歴検証

池内淳子(防災科学技術研究所)、荒木康弘

4-2 JR福知山線列車事故(2005年)における医療活動に関する検証 その2. マルチエージェントシミュレーションモデルを用いた傷病者搬送に関する解析的検討

荒木康弘(防災科学技術研究所)、池内淳子

4-3 災害時の避難所における避難者受け入れ体制について

木村正彦(中部電力)

4-4 インシデントを用いた安全規則の実践的改善枠組みの検証

大塚雄市(九州大学)、鮎澤純子、野口博司

一般セッション5

安全と人間性(日常災害) (第5室 6階 C(1)会議室)

15:30～17:30

座長:矢代嘉郎(清水建設)

5-1 公共的建築空間における転倒・転落事故死者数の経年変化と将来予測

河野守(国土技術政策総合研究所)

5-2 日常生活時における建物内での事故の報道実態に関する研究

添田昌志(東京工業大学)、小林美紀、大野隆造

5-3 日常生活時における建物内での事故についてのアンケート調査(その1) - 個人属性と事故状況の実態分析 -

砺波匡(国土技術政策総合研究所)、小野久美子

5-4 日常生活時における建物内での事故についてのアンケート調査(その2) - 事故発生時の状況及び要因の分析 -

小野久美子(国土技術政策総合研究所)、砺波匡

5-5 建築空間における日常事故等の判例調査・分析

佐藤貴美(佐藤貴美法律事務所)、城谷泰朗

5-6 騒音作業環境に適切な耳栓の選定法

江川義之(労働安全衛生総合研究所)

一般セッション6

建設に関する安全性と信頼性 (第5室 6階 C(2,3)会議室)

14:10 ~ 17:30

座長: 大幢勝利(労働安全衛生総合研究所)

- 6-1 設計の安定性と安全率に関する一考察
田政範(アーバンエンジニアリング)
- 6-2 わく組み足場の座屈形状に及ぼす布わくのせん断剛性の影響
高橋弘樹(労働安全衛生総合研究所)、大幢勝利、高梨成次
- 6-3 橋梁工事で使用するサンドルの水平安定性に関する実験的研究
高梨成次(労働安全衛生総合研究所)、大幢勝利、高橋弘樹
- 6-4 つり足場に使用される構造部材の基本性能に関する研究
日野泰道(労働安全衛生総合研究所)
- 6-5 リフォーム工事における危険性・有害性の特定について
高木元也(労働安全衛生総合研究所)
- 6-6 建設工事車両の接触防止のための無線ICタグの適用に関する研究
蔡成浩(鹿島建設)
- 6-7 斜面崩壊による労働災害の防止対策について
豊澤康男(労働安全衛生総合研究所)、伊藤和也
- 6-8 河川堤防の安全管理のための実証的研究
福成孝三(復建調査設計)、白井勝二、田中長光、吉川勝秀
- 6-9 長周期地震動を考慮した免震建築物 - セミ免震の提案 -
田村和之(真柄建設)、永野康行
- 6-10 柱部材の製品誤差を考慮した超高層建築物の地震時安全性
永野康行(福井工業大学)、西田真也

懇親会

日時 2007年7月5日(木) 18:00 ~

場所 はあといん「乃木坂」2階

参加費 4,000円

参加方法 参加ご希望の方は、第1日目7月5日(木)に会場総合受付にてお申込みください。

第2日:7月6日(金)

オーガナイズドセッション8

超高層建築における避難安全 (第1室 1階講堂)

9:40 ~ 11:40

オーガナイザ: 上原茂男(竹中工務店)

座長: 萩原一郎(建築研究所)

- 8-1 WTCにおける避難の実態と問題点
田中敦子(産業技術総合研究所)
- 8-2 災害弱者の避難安全における課題と対策
佐野友紀(早稲田大学)

- 8-3 超高層事務所ビルにおけるエレベータ避難の有効性に関する考察
中濱慎司(大成建設)、海老原学、関沢愛、池畠由華、野竹宏彰
- 8-4 地震時の防火設備信頼性と火災リスク
海老原学(東京理科大学)、関沢愛、野竹宏彰

オーガナイズドセッション9

化学安全教育の方向性 (第2室 2階大会議室)

- 9:40 ~ 11:40 オーガナイザ・座長: 刈間理介(東京大学)
- 9-1 小・中・高等学校の理科実験における安全教育と教員研修
橘淳治(大阪府教育センター)、江坂高志、小山修平、三田村緒佐武
- 9-2 大学における環境安全教育 (化学系での取り組み)
金子宏(東京工業大学)
- 9-3 米国の大学における安全衛生管理と化学安全教育
刈間理介(東京大学)
- 9-4 化学工場OBの一人として、学校での化学安全教育に望むこと
浅井昌明(新日石総研)

オーガナイズドセッション10

リスク情報活用の現状と展望 (第3室 6階 A(1)会議室)

- 9:40 ~ 12:10 オーガナイザ・座長: 三島嘉一郎(京都大学)
- 10-1 原子力におけるリスク情報活用の経緯と諸外国における状況
平野光将(原子力安全基盤機構)
- 10-2 原子力安全規制への「リスク情報」活用の取組みについて
中村幸一郎(原子力安全・保安院)
- 10-3 リスク情報活用の当面の実施計画と今後の展望
福田護(原子力安全基盤機構)
- 10-4 原子力発電所におけるリスク情報活用について ~その1~
田南達也(東京電力)
- 10-5 原子力発電所におけるリスク情報活用について ~その2~
成宮祥介(関西電力)

オーガナイズドセッション11

企業における安全文化の構築について (第4室 6階 A(2)会議室)

- 9:40 ~ 11:40 オーガナイザ・座長: 高野研一(慶應義塾大学)
- 11-1 産業保安規制における安全文化醸成への取組み
覚道崇文(原子力安全・保安院)
- 11-2 化学産業における安全文化醸成への取組み
若倉正英(神奈川県産業技術センター)
- 11-3 海運分野の安全文化醸成への取組み
村山義夫(海技振興センター)

- 11-4 航空分野の安全文化醸成への取組み(パイロットの安全文化)
山田牧子(ANA)
- 11-5 安全文化はなぜ必要か、どのように創り上げるか
高野研一(慶應義塾大学)

一般セッション7

燃焼、火災、爆発に関する安全性(シミュレーション) (第5室 6階 C(1)会議室)

9:00~11:20

座長:桑名一徳(東京大学)

- 7-1 関東大震災で発生した旋風についての仮説
篠原雅彦(消防研究センター)、関沢愛
- 7-2 都市建築安全・環境シミュレータ EVE SAYFA の開発と応用
黄弘(東京大学生産技術研究所)、加藤信介、奈良昌則、杉中隆史、長峰康雄
- 7-3 道路トンネル火災時の熱対流による排煙効果の検討
佐々木孝(アーク情報システム)、横田昌弘、Amita TRIPATHI、高橋真耶
- 7-4 化学プラントの災害シミュレーションに関する研究 (第1報 タンク火災・延焼・消火を考慮した場合)
倉敷哲生(大阪大学)、文田成俊、坐古勝
- 7-5 化学プラントの災害シミュレーションに関する研究 (第2報 風向・風速変動下での気体拡散を考慮した場合)
文田成俊(大阪大学)、倉敷哲生、坐古勝
- 7-6 爆発影響度評価に関する研究
河村智史(東京大学)、土橋律
- 7-7 毒劇物事故の要因分析による安全管理の創生
長谷川和俊(千葉科学大学)、大野晋、関谷正明、飯塚義明

一般セッション8

システムの安全性 (第6室 6階 C(2,3)会議室)

9:00~10:40

座長:天野久徳(消防研究センター)

- 8-1 FMEAによるエレベータの安全性評価
松岡猛(宇都宮大学)、松内大祐
- 8-2 複数故障モードを考慮したフェーズドミッション分析
松本智史(京都大学)、幸田武久、中川昌樹
- 8-3 日常生活関連リスクアセスメント
本田尚士(創造工学研究所)、
- 8-4 老朽化配管施設の非破壊モニタリングによる危険度評価
鈴木哲也(日本大学)、青木正雄、中村良太
- 8-5 物理量次元インデクシングを用いた故障木解析のコンピュータ支援
村上存(東京大学)、末久泰士

一般セッション9

安全の制御技術(監視技術) (第6室 6階 C(2,3)会議室)

10:40～11:40

座長:天野久徳(消防研究センター)

- 9-1 海上映像と水中音響解析による港湾監視技術
桐谷伸夫(海上技術安全研究所)、今里元信、山根健次、松下邦幸
- 9-2 ロボット制御用ジェスチャの誤認識リスクとその減少策
呂健(労働安全衛生総合研究所)
- 9-3 「機能の点検・維持・確認」 - 事故や不祥事を防ぐために -
西川康二(安全工学会)

オーガナイズドセッション 12

社会基盤施設のリスク管理 - 建設から維持管理まで - (第2室 2階大会議室)

14:20～16:20

オーガナイザ・座長:中山隆弘(広島工業大学)

- 12-1 建設作業員の目線に立った安全教育(現場での取組事例の紹介)
保田祐司(鹿島建設)、田淵哲也、板橋真也
- 12-2 大学生に対する現場での安全教育に関するアンケート調査
大幢勝利(労働安全衛生総合研究所)、高野忠邦、中村一平、大宮正弘
- 12-3 現場における安全教育の実態に関する経験年数別分析結果
河野周作(関西大学)、広兼道幸、大幢勝利、花安繁郎
- 12-4 安全管理システムの変遷に関する調査研究
北條哲男(ものづくり大学)、大幢勝利、前川行正
- 12-5 広島県送水施設事故の概要と今後の対応について
河合研至(広島大学)
- 12-6 電力土木施設の地球温暖化への適応
白砂孝夫(元電力中央研究所)

オーガナイズドセッション 13

原子力発電所の確率論的安全評価 (第3室 6階A(1)会議室)

14:20～16:50

オーガナイザ・座長:山口彰(大阪大学)

- 13-1 日本原子力学会におけるPSA関連標準の整備状況
平野光将(原子力安全基盤機構)
- 13-2 原子力発電所の出力状態を対象としたレベル1PSA 実施基準
村松健(日本原子力研究開発機構)、福田護、田南達也
- 13-3 原子力発電所の出力状態を対象としたレベル2PSA 実施基準
梶本光廣(原子力安全基盤機構)、住田侑、山越義規
- 13-4 原子力発電所のレベル3PSA 実施基準
本間俊充(日本原子力研究開発機構)、梶本光廣、内藤真
- 13-5 原子力発電所の地震時を対象としたPSA 実施基準
蛭沢勝三(原子力安全基盤機構)、平野光将、中村隆夫

オーガナイズドセッション 14

医療の安全と健康(その2) (第4室 6階A(2)会議室)

14:20 ~ 17:00

オーガナイザ・座長:鈴木喜久(東京工芸大学)

座長:鈴木雅久(電気通信大学)

14-1 統合医科学につて

鈴木喜久(東京工芸大学)

14 -2 留学生の健康管理と危機管理

鈴木雅久(電気通信大学)

14 -3 医薬品使用の安全性に関するアンケートの解析 テキストマイニング手法の適用

木村昌臣(芝浦工業大学)、古川裕之、塚本均、田崎久夫、空閑正浩、大倉典子、土屋文人

14 -4 仏教からみた自殺について

小笠原弘道(成就院)

14 -5 災害時における病棟の人命安全計画 - (その1)病棟の防災管理体制の実態 -

土屋伸一(早稲田大学)、平吹亘、神忠久、長谷見雄二

14 -6 病棟の災害時の人命安全計画に関する実態調査 その2:人工呼吸器等医療機器が避難に及ぼす影響

平吹亘(早稲田大学)、土屋伸一、神忠久、長谷見雄二

14 -7 情報システムの病院新築移転事例報告

永浜雄一(練馬総合病院)、柳川達生(練馬総合病院)、飯田修平

14 -8 日本人の食と健康 - 構成要素論の立場から -

豊川裕之(前東京栄養食糧専門学校)

一般セッション10

燃焼、火災、爆発に関する安全性(ガスおよび粉塵の発火爆発) (第5室 6階 C(1)会議室)

14:10 ~ 16:10

座長:和田有司(産業技術総合研究所)

10-1 イソブタンと各種希釈ガスとの混合系の爆発限界

近藤重雄(産業技術総合研究所)、滝澤賢二、高橋明文、徳橋和明、関屋章

10-2 爆轟波の干渉による圧力上昇について

永井厚司(埼玉大学)、横川真人、吉橋照夫、小原哲郎、大八木重治

10-3 水素ガス噴出時の帯電を支配する主要因の一考察

今村友彦(産業技術総合研究所)、茂木俊夫、堀口貞茲、小野亮

10-4 水噴霧による水素火炎抑制効果の検討

濱田祥大(横浜国立大学)、今村友彦、堀口貞茲、三宅淳巳、小川輝繁

10-5 実規模の空気輸送ダクト内での粉じん爆発を模擬する実験装置

八島正明(労働安全衛生総合研究所)、永田憲司、菅英治

10-6 有機金属蒸気の分解伝播危険性

宮田栄三郎(住友化学)、森繁樹、田中則章

一般セッション11

燃焼、火災、爆発に関する安全性(発火・爆発分解) (第5室 6階 C(1)会議室)

16:10 ~ 18:10

座長:熊崎美枝子(労働安全衛生総合研究所)

11-1 密閉型圧力容器試験による過酸化水素の暴走反応威力

江藤功(産業技術総合研究所)、秋吉美也子、岡田賢、藤原英夫、松永猛裕、宮田栄三郎、
田中則章

- 11-2 FT-IRを用いた熱分解挙動の把握
岩田雄策(消防研究センター)、林佑燮、古積博
- 11-3 Thermal behaviors of wood chips and wood pellets at low temperature
Xin-Rui Li (消防研究センター)、Hiroshi Koseki、Yusaku Iwata
- 11-4 A study on oxidation of ETBE by thermal analysis
Xin-Rui Li (消防研究センター)、Yusaku Iwata、Hiroshi Koseki、Katsumi Katoh、
Yuji Wata、Yuji Ogata
- 11-5 tert-ブチルエチルエーテルの熱安定性と酸化鉄(III)との混合危険性
加藤勝美(産業技術総合研究所)、緒方雄二、和田有司
- 11-6 化学工場跡地土壌汚染に伴う大気汚染とその被害の調査
後藤隆雄(元神戸大学)、黒田和美

一般セッション12

都市計画と安全 (第5室 6階 C(2,3)会議室)

14:10 ~ 16:10

座長:加藤孝明(東京大学)

- 12-1 江戸城の火災被害に関する研究
西田幸夫(東京理科大学)、伊藤涉、辻本誠
- 12-2 東京23区における死者火災 1965年 ~ 1981年の実態
中村眞紀子(東京理科大学)、西田幸夫、辻本誠、太田まどか
- 12-3 防火地域指定による建築物への影響・効果に関する研究
御澤 孝(東京理科大学)、辻本誠、西田幸夫
- 12-4 耐震改修を促進する制度としてのSRT(Sprit-rate Tax)の可能性について
新井伸夫(日本気象協会)
- 12-5 高等学校における地震・津波災害の防災教育及び防災対策の実態 - 南海地震による津波被災地
域での調査研究 -
大木麻美(摂南大学)、田中直人
- 12-6 大学生のアンケート調査に基づいた防災啓発マニュアルの提案
伊村則子(武蔵野大学)、石川孝重

一般セッション13

交通に関する安全性と信頼性 (第6室 6階 C(2,3)会議室)

16:10 ~ 18:10

座長:中村隆宏(労働安全衛生総合研究所)

- 13-1 大学周辺地区における自転車利用者の意識と交通事故を誘発する空間要因 - 歩行空間の安全ユ
ニバーサルデザインに関する研究
田中直人(摂南大学)
- 13-2 周辺状況に応じた運転行動の評価に関する研究
伊藤博子(海上技術安全研究所)、吉村健志、丹羽康之、福戸淳司
- 13-3 道路交通安全世界一を目指して(その一) - 深長法による交通安全力の数量化 -

村崎憲雄(東京農工大学)

13-4 道路交通安全世界一を目指して(その二) - 三次元一軸化斜形マトリクスによる交通事故予見 -

村崎憲雄(東京農工大学)

13-5 有人宇宙開発におけるソフトウェア安全・保証管理手法

上杉正人(宇宙航空研究開発機構)、長谷川義幸、酒井純一

13-6 日航機御巣鷹山墜落事故原因説に関する検証

藤原源吉(元日本航空)

安全工学シンポジウム講演予稿集のバックナンバーにつきましては(特非)安全工学会にて頒布いたしておりますので、在庫の有無をご確認の上、送付先(郵便番号、住所、勤務先、氏名、TEL、FAX、E-mail)をご記入の上、下記まで FAX または E-mail でお申し込み下さい。

申し込み受付後 5,000 円 + 送料の請求書を同封の上ご送付申し上げます。

問合せ先

〒231-0015 横浜市中区尾上町 4-47 リスト関内ビル3階

安全工学会事務局 TEL: 045-641-3213 FAX: 045-681-2613 E-mail: fvg7330@mb.infoweb.ne.jp